

福岡市設計測量業協会の「平成30年度経営者研修会」開く
会員の経営者39人が九州地整の広報活動等を学ぶ



九州地整の広報活動について学んだ「経営研修会」

(一社)福岡市設計測量業協会(福澤一博会長)は22日、福岡市のグランドハイアット福岡で「平成30年度経営者研修会」を開いた。九州地方整備局企画部の伊藤浩和建設専門官が「九州地方整備局における広報の取組について」と題し、建設業を取り巻く環境や具体的な広報の取組などについて講演し、企業経営者の参加会員らは、メモをとるなど熱心に聴講していた。

経営者研修会は、地場中小企業の経営の強化と経営者のスキルアップをねらいに、特別講師を招いて年1回、開催しているもので、この日は、会員00人が参加した。講師の伊藤建設専門官は、九州地方整備局や建設業を取り巻く環境について説明した後、九州地整の広報取組としての戦略の柱は、「しっかり守る、しっかり聴く、果敢に攻める」が伝わる広報、「災害からの復旧・復興と地域の安全・安心に向けた取組」、「地域の元気に寄与する九州地整の仕事や役割」、「魅力ある建設現場に向けた取組」で、アクションプランとして①災害からの復旧・復興に向けた広報、②地域の安全・安心に向けた広報、③地域の元気につながる広報、④所管事業に関する広報の推進、⑤魅力ある建設現場に向けた広報、⑥継続的かつ効果的な広報の推進などについて講話した。